

東北地域のスタートアップ支援！ 中小機構東北本部ピッチイベント「aTOP」を開催

東北地域の国公立大学発のスタートアップ6社が登壇！

2024年2月15日（木曜）13時00分～17時00分 TKP ガーデンシティ仙台 30階（仙台市青葉区）

独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）東北本部は、東北地域で革新的な技術を活かした事業化に取り組むいわゆるディープテック系（先端技術研究開発型）スタートアップを対象に、地元中小企業やベンチャーキャピタルとの新たなビジネスチャンスの創出に加え、金融機関のスタートアップに対する積極的な資金提供やキャピタリストの育成を図る場として、“aTOP（エートップ）”を開催します（昨年度に続き2回目）。

2月15日（木曜）の開催には、別表のとおり、東北地域の国公立大学シーズの事業を目指すスタートアップ6社の登壇を予定しています。

つきましては、今般、登壇予定のスタートアップのビジネスに興味を持つ中小企業や支援機関、エンジェルなどのリアル及びオンラインでの参加を、東北地域を主な対象として広く募るため、機構ホームページの特設サイトにて参加申込の受付を開始します。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

【開催概要】

■開催日時・実施方法

- ・開催日時 2024年2月15日（木曜） 13時00分～17時00分
- ・実施方法 リアル開催：TKP ガーデンシティ仙台 30階（仙台市青葉区中央1-3-1AER30階）
オンライン開催：Webinar方式（Zoom Webinarを利用）

■プログラム

- ・13時00分～13時10分 開会（挨拶、オリエンテーション）
- ・13時10分～13時15分 来賓挨拶（東北経済産業局 戸邊 千広 局長）
- ・13時15分～13時20分 来賓挨拶（東北財務局 田原 泰雅 局長）
- ・13時20分～13時40分 基調講演（アイリスオーヤマ株式会社 大山 健太郎 会長）
- ・13時40分～15時40分 参加企業ピッチ（6社、各社8分＋質疑応答・講評12分）
- ・15時40分～15時55分 スタートアップ支援施策紹介
- ・15時55分～16時00分 閉会
- ・16時00分～17時00分 懇親会（有料、希望者のみ）

※各プログラム時間・登壇企業は、追加や変更の可能性があります。

■申込方法

下記 URL からお申し込みください。

<https://jgoodtech2.smr.j.go.jp/atop>

<独立行政法人中小企業基盤整備機構（中小機構）>

中小機構は、事業の自律的発展や継続を目指す中小・小規模事業者・ベンチャー企業のイノベーションや地域経済の活性化を促進し、我が国経済の発展に貢献することを目的とする政策実施機関です。経営環境の変化に対応し持続的成長を目指す中小企業等の経営課題の解決に向け、直接的な伴走型支援、人材の育成、共済制度の運営、資金面での各種支援やビジネスチャンスの提供を行うとともに、関係する中小企業支援機関の支援力の向上に協力します。

<本件に関するお問い合わせ先>

独立行政法人 中小企業基盤整備機構 東北本部
企業支援部 支援推進課 （担当者：柴田、武政）
住所：宮城県仙台市青葉区一番町4丁目6番1号
電話：022-399-9031

■登壇予定企業とその事業テーマ（順不同）

弘前大学・東北大学発スタートアップ	
<p>appcycle 株式会社</p> 	<p>「フードロスの解消に貢献する青森りんごを原料にしたエシカルレザーの企画・製造・販売」</p> <p>https://appcycle.jp</p>
岩手大学支援スタートアップ	
<p>株式会社東北医工</p> 	<p>「ロボット技術を活用した脳卒中リハビリ用医療機器で、『療法士の負担軽減』と『患者の治療機会増進』に貢献」</p> <p>https://tohoku-ms.com</p>
東北大学発スタートアップ	
<p>サウンドウェーブイノベーション株式会社</p> 	<p>「認知症をはじめとするアンメットニーズを充足する低出力パルス波超音波を用いた治療用医療機器の開発・販売」</p> <p>https://sw-innovation.com</p>
秋田大学発スタートアップ	
<p>株式会社リピドームラボ</p> 	<p>「食事や運動など様々な生活環境により大きく変化する特徴を持つ生体分子脂質を網羅的に探索し特異的に評価することを通じた生活の質の向上」</p> <p>https://lipidome.jp</p>
山形大学共同開発スタートアップ	
<p>株式会社 Yume Cloud Japan</p> 	<p>「独自に開発した測定技術によってストレス状態の可視化と個人に合ったストレスマネジメント方法を取得するアプリ『マインドスケール』の開発と販売」</p> <p>https://www.yume-cloud.co.jp</p>
福島県立医科大学発スタートアップ	
<p>エースバイオアナリシス株式会社</p> 	<p>「電気泳動装置を用いた分離分析法によりリコンビナントタンパク質の研究と利用に貢献」</p> <p>https://aceba.jp</p>

1. ピッチイベント aTOP 開催主旨

1. 現状

日本全体では、資金調達は8割が東京都に集中※1し、投資先の5割以上はIT関連企業に偏っている※2という現状にある。

他方、東北地域では、ベンチャーキャピタルVCが創設され、起業支援を行っているものの、ネイティブなキャピタリストやメンターは少なく、地域金融機関の多くがスタートアップ投資に及び腰であるなどの創業支援環境が脆弱であることを背景に、東北で創業した半数近くの起業が、首都圏に本社を登記する傾向にある。

2. 開催主旨

東北本部としては、このような現状に鑑みて、現行のT-Bizの事業推進による周辺地域も含む創業支援に加え、新たに、東北圏域のスタートアップ気運醸成と地元定着を目指し、創業者が、資金調達のみならず、メンターからの助言を受けつつ、事業パートナーと出会える場となるピッチ“aTOP(エートップ)”を創設することとした。

また、当該ピッチは、圏域の中小企業者の参加を図り、スタートアップと中小企業者の双方にとって新たなビジネスチャンスを創出するとともに、地域金融機関のスタートアップに対する積極的な資金提供やキャピタリストの育成も併せて促進することを目的とした。

3. 地域の取組みとの関わりと将来像について

このピッチの運営にあたっては、東北経済産業局や自治体と連携するとともに、先行するMASP※3の参画大学等と連携し、仙台市の行う社会課題解決型スタートアップ支援、RIRC※4の地域イノベーション事業等と実務的な創業支援ネットワークを構築することを通して、ピッチのブランディング化による登壇意欲を醸成し、質の高いスタートアップ支援の場にして、大学シーズの事業化やディープテック企業の輩出を実現することを目指している。

※注1)出典: VEC ベンチャー白書2023。投資先地域別動向

2)出典: VEC ベンチャー白書2023。IT関連: コンピュータ及び関連機器、ITサービス、ソフトウェア、通信・ネットワークなど

3)みちのくアカデミア発スタートアップ共創プラットフォーム

4)東北大学大学院経済学研究科地域イノベーション研究センター

2. aTOP2024 開催概要

(1)開催日時

令和6年2月15日(木)13時~17時00分

※終了後1時間の名刺交換会・懇親会を予定 [軽食あり、有料(1,000円)]

(2)登壇企業

東北地域の国公立大学関連ディープテックをもとに事業化に取り組むスタートアップ(6社程度(予定))

(3)開催場所

TKPガーデンシティ仙台(〒980-6130 宮城県仙台市青葉区中央1-3-1 AER 30階)

(4)参加対象者

- ・スタートアップとの事業提携・出資を検討している中小企業等
- ・スタートアップに融資・出資を検討している金融機関、証券会社、ベンチャーキャピタル
- ・創業支援・企業支援に携わる東北 6 県の大学、スタートアップ支援機関
- ・メディア関係者・マスコミ

(5)開催規模

リアル参加:120名・オンライン参加100名程度(Zoomによるハイブリッド開催)

(6)共催・後援機関(予定)

共催/東北経済産業局、東北財務局、宮城県、仙台市

後援/(国研)科学技術振興機構、青森県、岩手県、秋田県、山形県、福島県、

弘前大学、東北大学、山形大学、岩手大学、秋田大学、福島県立医科大学、東北大学ベンチャーパートナーズ株式会社、

日本政策金融公庫、商工組合中央金庫、日本政策投資銀行、青森銀行、秋田銀行、岩手銀行、七十七銀行、

山形銀行、東邦銀行、宮城県信用保証協会

(一社)東北経済連合会、(一社)東北ニュービジネス協議会、(公財)福島イノベーション・コースト構想推進機構、

(公財)みやぎ産業振興機構、(公財)仙台市産業振興事業団、MICHINOKU ACADEMIA STARTUP PLATFORM

【次第】

13:00 ~ 13:10 開会あいさつ

13:10 ~ 13:20 来賓挨拶

13:20 ~ 13:40 基調講演

13:40 ~ 15:40 登壇者ピッチ(質疑応答)

15:40 ~ 16:00 支援施策紹介・閉会

16:00 ~ 17:00 名刺交換会・懇親会



イベントテーマ

イベント名である“aTOP”は、世界のTOPを目指す『唯一無二のディープテック』を輩出する意欲の表れとして、オンリーワンを表す“a”と“TOP”を組み合わせたものです。

ロゴマークデザインコンセプト

上記イベントテーマから、TOPの中心に東北地域の地図を配し、“aTOP”が東北地域から数多くのディープテック企業を輩出する『中心地』になるというメッセージを込めたデザインにしました。

メインカラーとなる青と赤が交じり合う紫は多様な感性・印象「Impression」を、色鮮やかな赤はスタートアップの進むエネルギー「Passion」を、それぞれ表現しています。